



Uコートタフ

段差修正に最適の舗装補修材です!!

Uコートタフの特性

- 1 Uコートでは施工できないような、より厚みのある塗布作業ができます。(3mmまで)
- 2 塗布作業のみで段差補修が可能です。
- 3 硬化剤を使用することにより、養生(乾燥)時間が短縮されます。



Uコートタフの荷姿
Uコートタフ/4kg袋、骨材/5kg袋、硬化剤/1.5kg
(1セット合計10.5kg)
1箱2セット入合計/21kg

Uコートタフの施工



マンホール周囲のくぼみの補修からゼロすり付けまでの対応が可能です。



施工前



Uコートタフ施工状況

Uコートタフの技術資料

1.耐摩耗性

材料	項目	試験結果
Uコートタフ	質量変化(g)	3.549
	厚さ変化(mm)	0.37
セメントモルタル	質量変化(g)	13.878
	厚さ変化(mm)	1.74

試験法:JIS-Z-2141(1000回転)

2.不透水性

材料	項目	試験結果(%)
Uコートタフ	1時間後	0.6
	24時間後	1.3
	168時間後	2.1
セメントモルタル	1時間後	13.9
	24時間後	14.4
	168時間後	15.1

試験法:JIS-A-1404

3.滑り抵抗

材料	項目	試験結果(%)
Uコートタフ	滑り抵抗係数	0.60~0.70
アスファルトコンクリート	//	0.50~0.60
セメントコンクリート	//	0.40~0.50
木製床	//	0.10~0.20
プラスチック系タイル	//	0.05~0.20
天然石・テラゾー	//	0.05~0.20

試験法:JIS-A-1407

Uコートタフの施工方法

使用道具

清掃用具(ブロアー・箒等)、養生材(ガムテープ等)、コテ、水、攪拌・洗浄用の空き缶またはバケツ、柄杓、攪拌器・発電機

施工手順

1. 施工箇所をブロアー・箒にて清掃する。
2. ガムテープ・マスカー等にて養生。
3. Uコートタフ1袋を容器に入れ、充分に攪拌する。その際、水を柄杓1杯(500cc)加えると施工性が良くなります。
4. 次に骨材1袋を加えながら攪拌する。
5. 充分に攪拌後、水を柄杓に1杯(500cc)加え、硬化剤1袋を入れ、さらに攪拌する。攪拌時にまだ材料が硬いようであれば、さらに水を少しづつ加えて(攪拌器の抵抗が軽く残るくらいが目安)調整する。
6. 凹み部分を埋める。金コテ又はレーキにてその周りをすりつける。乾燥が速いので、速やかに作業する。硬化時間の目安として夏場10分~20分、冬場20分~30分。交通解放は目安として夏場1時間、冬場2時間。
7. 仕上げとして、硬化後にUコートを2回塗布すれば耐候性が向上します。(気温5℃以下の場合にはUコートは施工できません)

※材料は6ヶ月以内に御使用下さい。
※材料保管所は温度・湿度変化の小さい屋内でお願いします。



取扱い上の注意点

使用に先だって、必ず以下の取扱い上の注意点をお読み下さい。間違った取扱いをされた場合に生じた事故についての責任は負うことができません。

- 本製品はアスファルト舗装補修材料です。用途以外の目的で使用しないで下さい。
- 作業の際には適切な保護具(手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用して下さい。
- 誤って目、鼻、口等に入った場合は直ちに清浄な水で洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は付着物を布で拭き取り、直ちに多量の水及び石鹼で洗い落して下さい。
- 子供の手が届く所、湿気が多い所、気温40℃以上又は0℃以下になる所での保管は避けて下さい。
- 使用済の容器や残材料は、必ず自治体の産業廃棄物処理条例に従って処理して下さい。
- 大きなクラックが発生している箇所については、クラックの補修を行ってから施工して下さい。

商品に関する疑問、質問等は下記へお問い合わせ下さい。

光工業株式会社 環境部

〒612-8415
京都府京都市伏見区竹田中島町5番地
TEL 075-641-5366 FAX 075-645-3736
E-mail kankyobu@hikarikogyo.net

商品のご注文は下記販売代理店へ

販売代理店